

MHAM米国好配当株式ファンド (年1回決算型) 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし(愛称：ゴールドルーキー)

追加型投信／海外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「MHAM米国好配当株式ファンド(年1回決算型) 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」は、2018年9月25日に第5期の決算を行いました。当ファンドは、米国の株式に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2017年9月23日～2018年9月25日

第5期	決算日：2018年9月25日
-----	----------------

為替ヘッジあり

第5期末 (2018年9月25日)	基準価額	13,751円
	純資産総額	687百万円
第5期	騰落率	8.1%
	分配金合計	0円

為替ヘッジなし

第5期末 (2018年9月25日)	基準価額	16,387円
	純資産総額	3,771百万円
第5期	騰落率	11.2%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

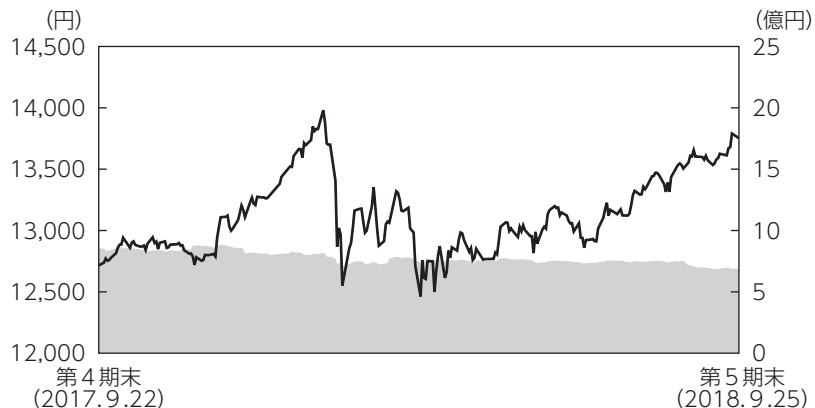
アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

MHAM米国好配当株式ファンド（年1回決算型）為替ヘッジあり

基準価額等の推移



第5期首：12,715円
 第5期末：13,751円
 （既払分配金0円）
 騰落率：8.1%
 （分配金再投資ベース）

■ 純資産総額（右軸） — 基準価額（左軸） — 分配金再投資基準価額（左軸）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

米国好配当株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて主として米国企業の株式に投資を行った結果、米国株式市場が上昇したことなどから基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

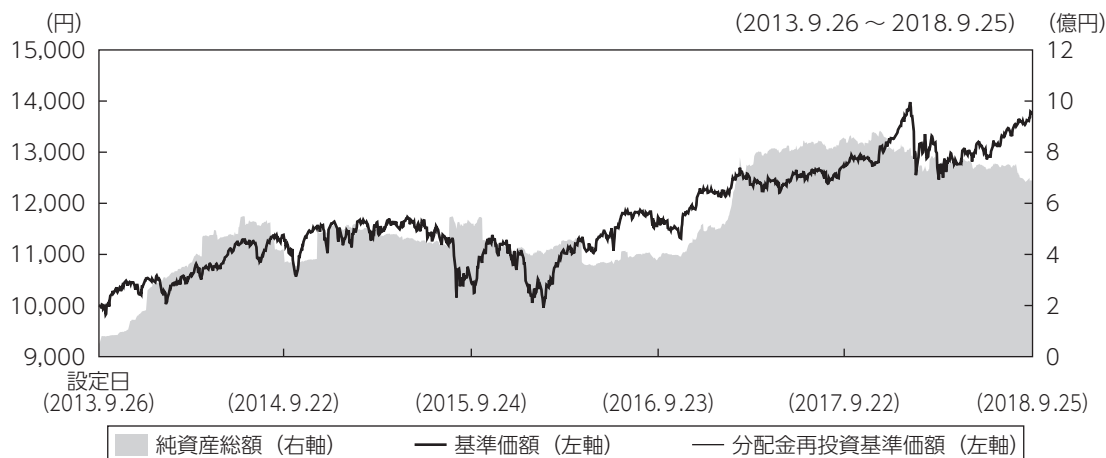
項目	第5期		項目の概要
	(2017年9月23日 ～2018年9月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	250円	1.906%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,104円です。
(投信会社)	(128)	(0.980)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(114)	(0.871)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(7)	(0.054)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.046	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(5)	(0.041)	
(投資信託証券)	(1)	(0.005)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.002)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	7	0.057	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(5)	(0.038)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(2)	(0.016)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	263	2.011	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移



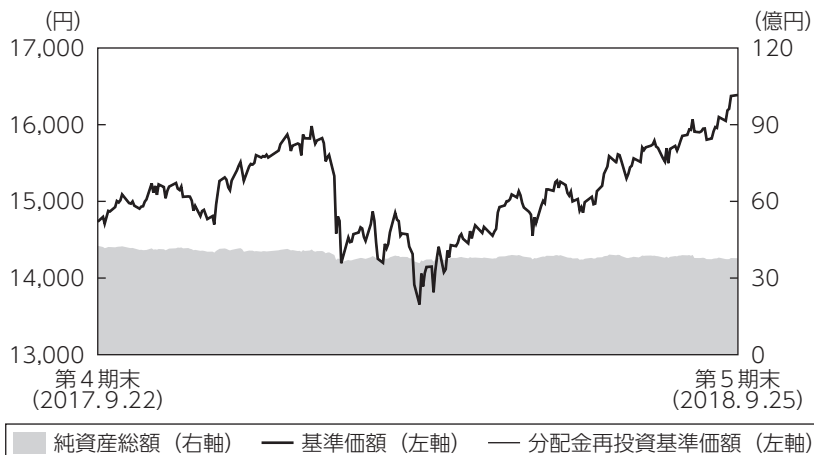
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の基準価額に合わせて指数化しています。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示してあります。

	2013年9月26日 設定日	2014年9月22日 決算日	2015年9月24日 決算日	2016年9月23日 決算日	2017年9月22日 決算日	2018年9月25日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,000	11,381	10,449	11,728	12,715	13,751
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	13.8	△8.2	12.2	8.4	8.1
参考指数の騰落率 (%)	—	20.4	△2.3	13.6	15.4	16.2
純資産総額 (百万円)	51	419	520	385	853	687

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はS & P 500指数 (税引後配当込み、円ヘッジベース) です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。
- (注2) 参考指数は、基準価額への反映を考慮してS & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) (出所：ブルームバーグ) の前営業日の値を用い、当社が独自に算出したヘッジ指数を反映しています。

■ MHAM米国好配当株式ファンド（年1回決算型）為替ヘッジなし

■ 基準価額等の推移



第5期首：14,733円
第5期末：16,387円
(既払分配金0円)
騰落率：11.2%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

米国好配当株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて主として米国企業の株式に投資を行った結果、米国株式市場が上昇したことなどから基準価額は上昇しました。

1万口当たりの費用明細

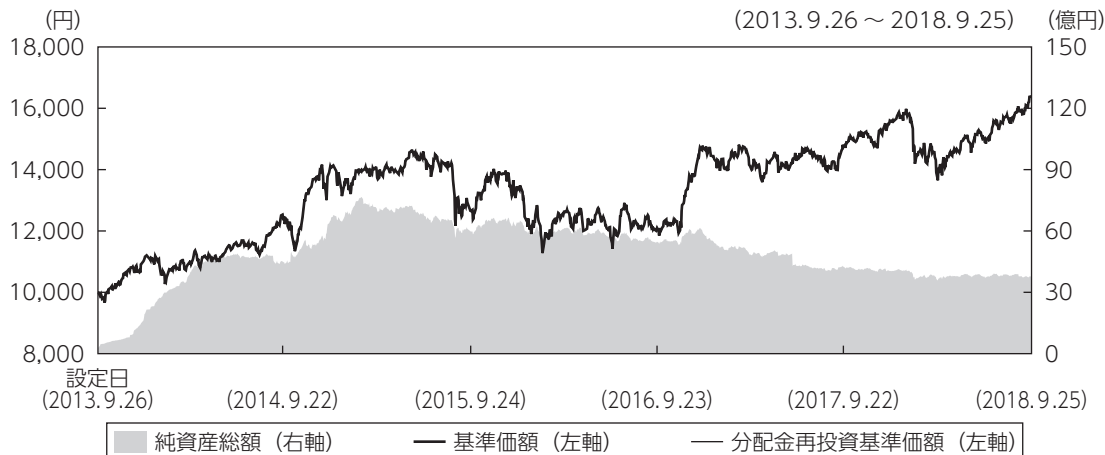
項目	第5期		項目の概要
	(2017年9月23日 ～2018年9月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	287円	1.906%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15,074円です。
(投信会社)	(148)	(0.980)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(131)	(0.871)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(8)	(0.054)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.046	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(6)	(0.041)	
(投資信託証券)	(1)	(0.005)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.002)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	8	0.056	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(6)	(0.038)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(2)	(0.014)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	302	2.010	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の基準価額に合わせて指数化しています。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示してあります。

	2013年9月26日 設定日	2014年9月22日 決算日	2015年9月24日 決算日	2016年9月23日 決算日	2017年9月22日 決算日	2018年9月25日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,000	12,531	12,658	12,101	14,733	16,387
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	25.3	1.0	△4.4	21.8	11.2
参考指数の騰落率 (%)	—	33.6	7.9	△4.1	29.4	19.2
純資産総額 (百万円)	297	4,507	5,989	5,472	4,257	3,771

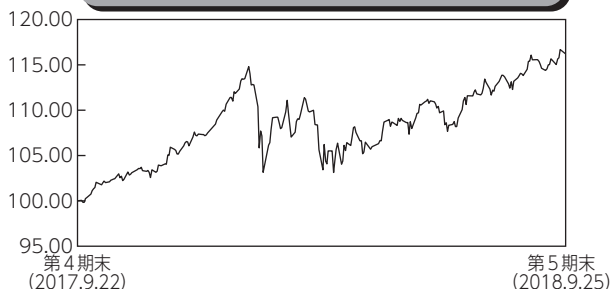
- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はS & P 500指数 (税引後配当込み、円換算ベース) です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。
- (注2) 参考指数は、基準価額への反映を考慮してS & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) (出所: ブルームバーグ) の前営業日の値を用い、当社が独自に当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しています。

■ MHAM米国好配当株式ファンド（年1回決算型）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

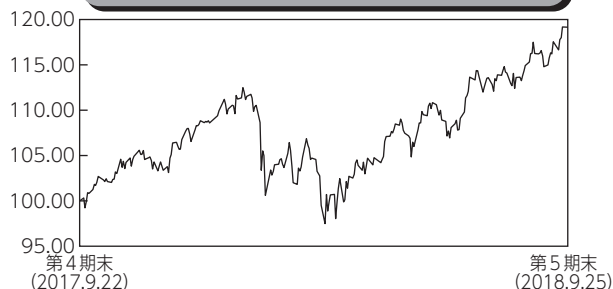
投資環境

● 海外株式市況と為替市場

S & P 500指数（税引後配当込み、円ヘッジベース）の推移

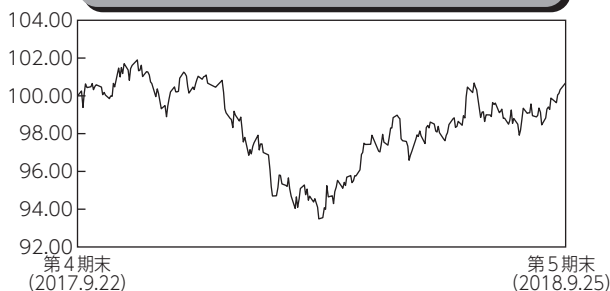


S & P 500指数（税引後配当込み、円換算ベース）の推移



(注) 期首の値を100として指数化しています（以下同じ）。

米ドル／円相場の推移



<株式市場>

当期の米国株式市場は上昇しました。期首より米国の良好な経済指標や好調な企業決算が好感され、市場は上昇しました。その後も年末商戦や税制改革への期待感、好調な企業業績や活発な合併・買収（M&A）を背景に大きく上昇しました。2月に一時大きく下落し、その後しばらくは米中貿易摩擦への懸念などから方向感に欠ける展開となりました。5月からは、米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げペースが緩やかになるとの見方が広がったことや貿易摩擦に対する懸念が一旦後退したことなどから上昇しました。期末にかけては好調な企業業績などを背景に続伸しました。

<為替市場>

当期の米ドルは対円で小幅に上昇しました。当期前半は米国の財政政策や日米の金融政策に対する思惑などから、米ドルは対円で下落した後、当期後半は米国の長期国債利回りの上昇を背景に米ドルは対円で上昇しました。

■ ポートフォリオについて

●MHAM米国好配当株式ファンド（年1回決算型）為替ヘッジあり

マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持しました。なお実質外貨建資産に対しては、引き続き為替ヘッジを行いました。

●MHAM米国好配当株式ファンド（年1回決算型）為替ヘッジなし

マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持しました。なお実質外貨建資産に対しては、為替ヘッジを行いませんでした。

●米国好配当株式マザーファンド

当マザーファンドにおきましては、革新的な商品を有する、低コスト体質、市場シェア拡大余地があるなどの特徴を持ち、株価が割安な水準にあると判断される銘柄に対し、中長期的な観点から選別投資を行いました。株式等の組入比率は高位を維持しました。種別配分については、REIT（不動産投資信託）や優先REITを一部組み入れつつも、概ね90%以上を株式に投資しました。

業種配分については、上記の運用方針に沿った銘柄への選別投資を行った結果、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンスやエネルギーへの投資比率が高めとなりました。

[基準価額の主な変動要因]

(主なプラス要因)

- ・米国株式市場が上昇したこと。
- ・保有銘柄のうち、マイクロソフト（ソフトウェア・サービス）やファイザー（医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス）などの株価が上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・保有銘柄のうち、プロクター・アンド・ギャンブル（家庭用品・パーソナル用品）などの株価が下落したこと。

〔種別組入比率〕

期 末		
順位	種 別	比率
1	普通株	95.5%
2	REIT	4.5

(注) 上記比率は、米国好配当株式マザーファンドの株式および投資信託証券部分を100%換算したものをを用いております。

〔普通株および優先株式の上位10業種組入比率〕

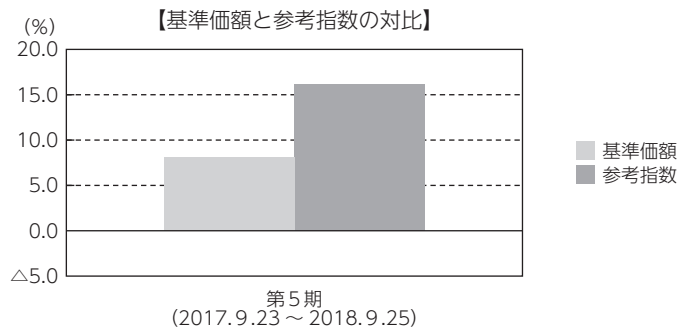
期 末		
順位	業 種	比率
1	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	13.5%
2	エネルギー	11.9
3	銀行	10.6
4	ソフトウェア・サービス	7.5
5	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.5
6	資本財	6.1
7	ヘルスケア機器・サービス	6.1
8	公益事業	5.8
9	食品・飲料・タバコ	4.0
10	素材	3.8

(注) 上記比率は、米国好配当株式マザーファンドの純資産総額に対する割合を示しています。

■ MHAM米国好配当株式ファンド（年1回決算型）為替ヘッジあり

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金は、基準価額の水準や市況動向等を勘案した結果、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2017年9月23日 ～2018年9月25日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	3,751円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

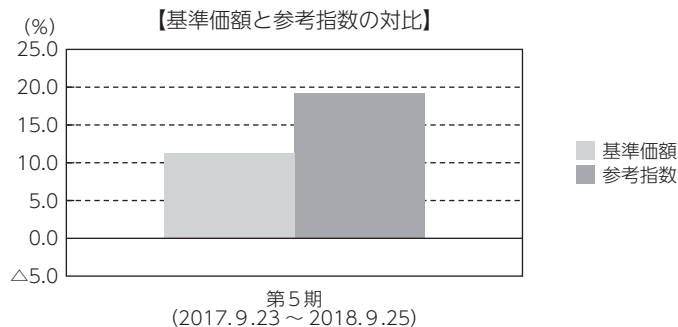
(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

■ MHAM米国好配当株式ファンド（年1回決算型）為替ヘッジなし

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金は、基準価額の水準や市況動向等を勘案した結果、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2017年9月23日 ～2018年9月25日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	6,387円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

- MHAM米国好配当株式ファンド（年1回決算型）為替ヘッジあり
マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。なお実質外貨建資産に対しては、引き続き為替ヘッジを行う方針です。
- MHAM米国好配当株式ファンド（年1回決算型）為替ヘッジなし
マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。なお実質外貨建資産に対しては、原則として為替ヘッジを行いません。
- 米国好配当株式マザーファンド
米国株式は、割安性の観点から注意が必要なものの、引き続き堅調な米国のマクロ経済環境、企業業績を背景に、他の資産と比較して投資魅力度が高いと考えています。長期金利やコストの上昇局面においては価格決定力のある企業が優位であり、銘柄選択の重要性が高まります。
今後の運用に際しては、ボトムアップの銘柄選択に注力します。革新的な商品を有する、低コスト体質、市場シェア拡大余地があるなどの特徴を持ち、株価が割安な水準にあると判断される銘柄に対し、中長期的な観点から選別投資を行って参ります。
また、株式等の組入比率を高位に維持する方針です。外貨建資産に対しては、原則として為替ヘッジを行いません。

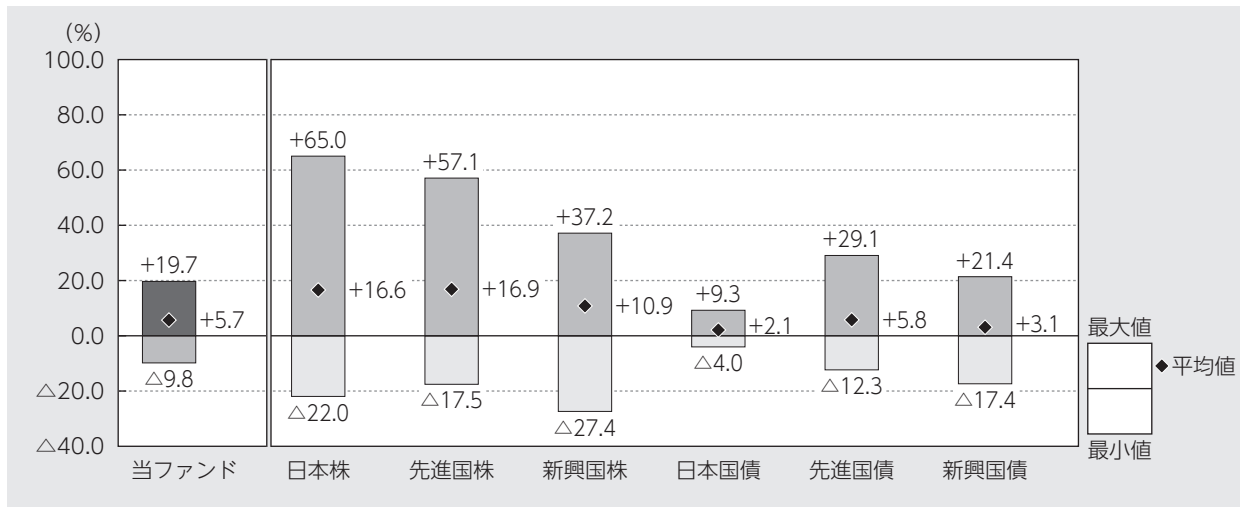
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2013年9月26日から2023年9月22日までです。 なお、クローズド期間ははありません。	
運用方針	主として米国の株式に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	MHAM米国好配当株式 ファンド（年1回決算型） 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし	米国好配当株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	米国好配当株式 マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場している株式を主要投資対象とします。また、普通株式以外に、米国の金融商品取引所に上場している優先株式、REIT（優先REITを含みます。）およびMLP等にも投資する場合があります。
運用方法	米国の金融商品取引所に上場している株式の中から、配当利回りのほか、ファンダメンタルズ分析による収益・配当成長予測等を勘案して銘柄を選別し、投資を行います。株式等の組入比率は、高位を保つことを基本とします。 実質組入外貨建資産について、「為替ヘッジあり」は原則為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図り、「為替ヘッジなし」については原則為替ヘッジを行いません。 マザーファンドの運用の指図に関する権限の一部（有価証券等の運用の指図に関する権限）をゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピーに委託します。	
分配方針	原則として毎年9月22日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、委託会社が基準価額の水準や市況動向等を勘案して決定します。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用しています。（ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてペビエーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。）

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

■ MHAM米国好配当株式ファンド（年1回決算型）為替ヘッジあり



2013年9月～2018年8月

(注1) 上記のグラフは2013年9月から2018年8月の5年間における1年騰落率（毎月末時点における期間1年間の騰落率を5年（60ヵ月）分取得したデータ）の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。（グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。）なお、上記騰落率は直近の月末から60ヵ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。また、当ファンドについては、ファンドの設定日（2013年9月26日）から2018年8月までの1年騰落率（2014年8月は対当初元本（10,000円）の騰落率）の平均・最大・最小を表示しています。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算していますので、基準価額をもとに計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

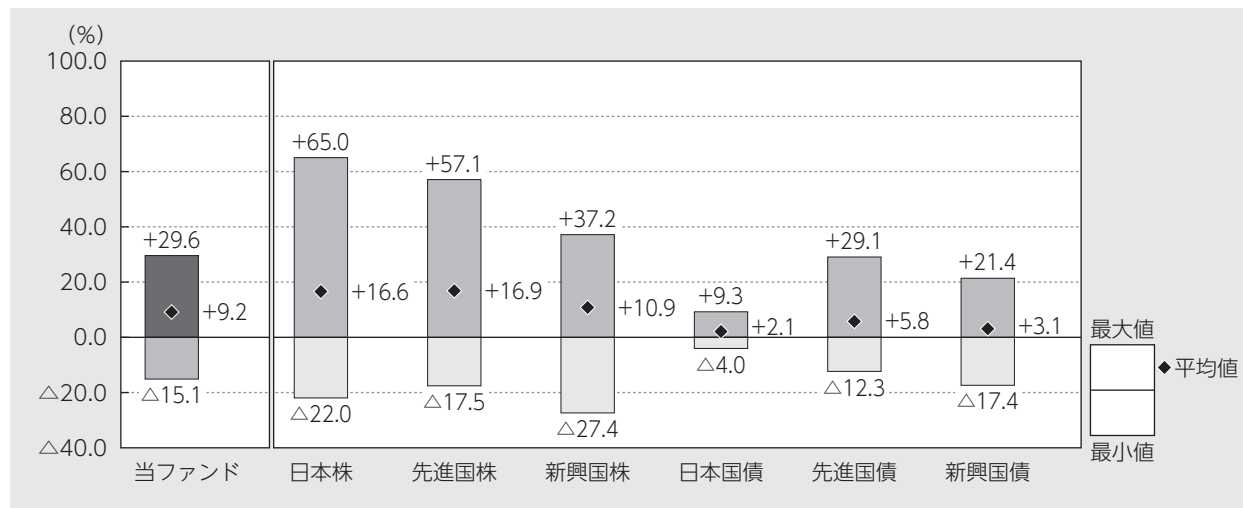
先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバシファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

■ MHAM米国好配当株式ファンド（年1回決算型）為替ヘッジなし



2013年9月～2018年8月

(注1) 上記のグラフは2013年9月から2018年8月の5年間における1年騰落率（毎月末時点における期間1年間の騰落率を5年（60ヵ月）分取得したデータ）の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。（グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。）なお、上記騰落率は直近の月末から60ヵ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。また、当ファンドについては、ファンドの設定日（2013年9月26日）から2018年8月までの1年騰落率（2014年8月は対当初元本（10,000円）の騰落率）の平均・最大・最小を表示しています。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算していますので、基準価額をもとに計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

■ MHAM米国好配当株式ファンド（年1回決算型）為替ヘッジあり

当ファンドの組入資産の内容（2018年9月25日現在）

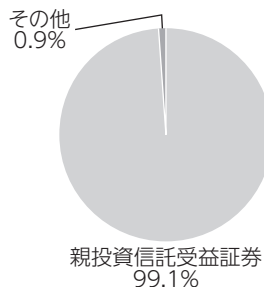
◆組入ファンド等 （組入ファンド数：1ファンド）

	当期末
	2018年9月25日
米国好配当株式マザーファンド	99.1%

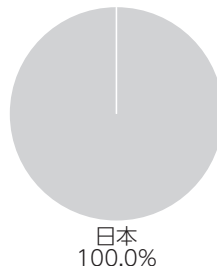
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

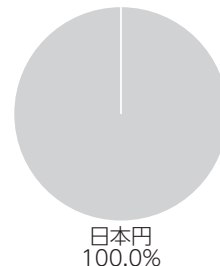
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



◆為替ヘッジ比率

比率
98.8%

（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

（注2）その他は100%と配分比率の合計との差になります。

（注3）為替ヘッジ比率は、組入外貨建資産に対する割合です。

純資産等

項目	当期末
	2018年9月25日
純資産総額	687,485,245円
受益権総口数	499,940,227口
1万口当たり基準価額	13,751円

（注）当期中における追加設定元本額は259,474,297円、同解約元本額は430,676,099円です。

■ MHAM米国好配当株式ファンド（年1回決算型）為替ヘッジなし

■ 当ファンドの組入資産の内容（2018年9月25日現在）

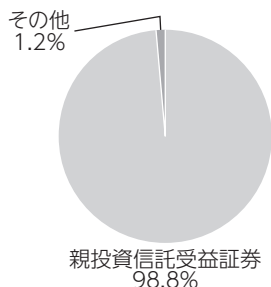
◆ 組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

	当期末
	2018年9月25日
米国好配当株式マザーファンド	98.8%

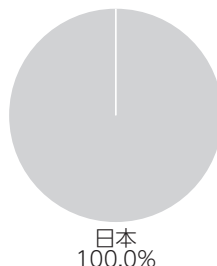
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

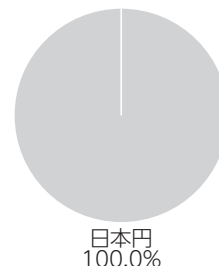
◆ 資産別配分



◆ 国別配分



◆ 通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

(注2) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

■ 純資産等

項目	当期末
	2018年9月25日
純資産総額	3,771,846,219円
受益権総口数	2,301,686,116口
1万口当たり基準価額	16,387円

(注) 当期中における追加設定元本額は820,455,690円、同解約元本額は1,408,301,271円です。

組入ファンドの概要

[米国好配当株式マザーファンド] (計算期間 2017年9月23日～2018年9月25日)

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

項目	(2017年9月23日～2018年9月25日)	
	金額(円)	比率(%)
平均基準価額	16,321	—
(a) 売買委託手数料	8	0.048
(株式)	(7)	(0.042)
(投資信託証券)	(1)	(0.006)
(b) 有価証券取引税	0	0.002
(株式)	(0)	(0.002)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	8	0.051
(保管費用)	(6)	(0.038)
(その他)	(2)	(0.013)
合計	16	0.101

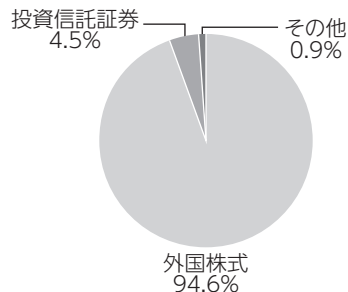
◆組入上位銘柄

[株式] (組入銘柄数：67銘柄) [投資信託証券] (組入銘柄数：7銘柄)

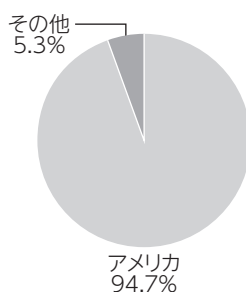
順位	銘柄	業種	通貨	比率
1	PFIZER INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	5.8%
2	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	米ドル	5.5%
3	CHEVRON CORP	エネルギー	米ドル	4.1%
4	CISCO SYSTEMS INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	3.3%
5	JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	3.1%
6	EXXON MOBIL CORPORATION	エネルギー	米ドル	3.1%
7	BB & T CORP	銀行	米ドル	2.9%
8	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	2.7%
9	ABBOTT LABORATORIES	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	2.1%
10	PRAXAIR INC	素材	米ドル	2.0%

順位	銘柄	通貨	比率
1	CROWN CASTLE INTL CORP	米ドル	1.2%
2	CAMDEN PROPERTY TRUST	米ドル	0.8%
3	HUDSON PACIFIC PROPERTIES INC	米ドル	0.7%
4	AVALONBAY COMMUNITIES INC	米ドル	0.7%
5	DDR CORP	米ドル	0.6%
6	VENTAS INC	米ドル	0.5%
7	RETAIL VALUE INC	米ドル	0.1%

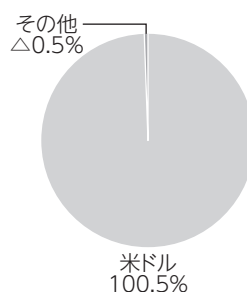
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は当マザーファンドの直近の決算期のものです。費用の項目の概要については2頁をご参照ください。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計(除く現金)に対する割合です。

(注4) その他は100%と配分比率の合計との差になります。そのため、その他を除く配分比率の合計が100%を超過する場合にはマイナス表示になります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。